



YMCA学院日本語科2年生 トン・ヌ・イーニーさん

大学受験での挫折から、日本留学へ

「やりたいことは大学を卒業してから自分の力でやれ!」大学を中退して日本に留学したいと切り出した時、父親から激しく叱られたというトン・ヌ・イーニーさん。彼女はベトナム出身の留学生です。日本語の上達は目覚ましく、9月のYMCA学院日本語科のスピーチ大会で最優秀賞を受賞したほど。しかし、留学までには紆余曲折がありました。

アフリカで海外医療に携わるのが夢だったイーニーさん。高校では医大を目指して猛勉強の日々でした。しかし、結果は不合格。進学したのは全く分野の異なる経済大学でした。大学生活が次第に苦痛になり、日本への留学を考え始めます。もともとイーニーさんにとって、日本はとても興味深い国でした。「日本は『奇跡の復興』と言われる戦後復興を遂げました。ベトナムも大きな戦争を経験しましたが、復興のスピードは日本の方がはるかに速かった。日本の教育にも関心があります。国を形づくる要素として、もっと『日本人』を知りたい。それには書物やインターネットでは不十分です。実際に生活しながら、日本人のことを知りたいという願いを強く抱くようになりました」。

両親の猛反対で言い争いになることもしばしば。しかし、一年の説得の後、ついに両親から留学を許されました。「留学は人生によい結果をもたらす。それは家族にとってもいいことだと、最終的に両親は理解してくれました」。

昨日より今日、今日より明日

日本の社会を見つめ続ける

YMCAに入学して1年半。授業が終わると、発達障がいの子どもたちが通う施設でのボランティア、飲食店でのアルバイトなど、イーニーさんの毎日はフル回転です。9月にはYMCAがアレンジした西日本豪雨災害のボランティアとして広島県の坂町へ。家屋から土砂まみれになった家財道具を取り出す活動に加わりました。「被災した人たちが繰り返し口にしていたのが『ありがとう』という言葉。混乱のまっただ中にいる人たちが発する感謝の言葉が強く印象に残りました。これは日本人の一つの特性なのかもしれない、と」。

ボランティアやアルバイト、道端でさりげなく交わす会話。日々の生活のすべてから、イーニーさんは日本という国を知ろうとしています。「日本人は他人に迷惑をかけないことに細心の注意を払います。よく言われる『日本人の本音と建て前』に最初は戸惑いましたが、最近はそれも日本人の優しさだと思うようになりました。施設でのボランティアでは、教育の考え方を学ぶことができます。ベトナムとの相違点は多いですね。飲食店のアルバイトでもそうです。テーブルのセッティングでは、汚れたところはないか念入りにチェックします。お冷のボトルの氷は欠かさない。しょうゆや塩の補充、おしぼりなど、細かいチェック項目が質の高いサービスにつながっていることが分かりました」。



YMCAこどもえいごスクールとの交流



YMCA学院スポーツデイ

大好きな日本だから

大好きな日本の社会に、期待もあります。「アルバイト先で私の名札を見たお客様から『外国人じゃなくて日本人のスタッフ呼んで!』と言われたことがありました。日本語は完璧ではありませんが、私の説明をちゃんと聞いてくれたら分かるはずなのに、と悲しくなりました。日本の社会では、外国人と日本人が区別され過ぎているようです。みんなが同じ『人間』だと思えるようになれば、もっといい社会になるはずですよ。日本での大学受験を控えたイーニーさん。大学卒業後は日本で就職したいと考えるようになりました。努力家で笑顔を絶やさないイーニーさんが、いつも自分に言い聞かせている言葉を教えてくださいました。「昨日より今日、今日より明日、自分はよくなっている」。

「日本はどうすれば海外の人から選ばれる国になれるか」。労働人口の急激な減少によって、このような議論が活発になっています。イーニーさんの言葉が「今日より明日、よくなっていく社会」について考えるヒントになるかもしれません。

Pickup

ボールすくいに夢中!
みなみセンター
サザンフェスタ



体育英語幼児園
園児がテープカット
むさしフェスタ

「Trick or Treat!!」
こどもえいご
ハロウィンウィーク



YMCA 年末募金

こども・若者・国際協力

YMCAは、出会いとつながりを大切に
これからも希望あるより豊かな社会をつくれます。



互いを認め、高め合う、前向きなネットワーク「ポジティブネット」の実現に向けて、
お寄せいただく募金を地域の希望や活力に変える働きを進めます。

こども

中学3年生
みなみセンター 水泳クラブ
星原 花音さん



5歳から水泳教室に通い始めました。参加費減免制度※を利用していることを母から教えてもらったのは小学6年生の時。この制度がなければ、水泳を続けられていたか分かりません。支えてくれた人たちに恩返しできるように、これからも練習を頑張って結果を残したいと思います。

水泳クラブの仲間たちとYMCAの街頭募金に参加したことがあります。世界の困っている人たちはもちろん、自分と同じ境遇の人も助けることができる」と知り、とてもうれしかったです。YMCAで、「自分の行動一つで、世界の人たちを救うことができる」と学びました。将来は率先してそのような活動ができる大人になりたいです。

※参加費減免制度／ひとり親家庭などの理由で経済的な困難を抱える子どもたちのYMCAプログラム参加費を補助する制度。

若者

東海大学1年生
野外活動ボランティアリーダー
美濃部 星矢さん



キャンプリーダーとして子どもたちに関わっています。10月に開催された全国YMCAリーダー研修会に参加しました。研修の中で、東日本大震災の際に仙台をはじめとするYMCAがいち早く復興支援を行ったという話を聞き、YMCAの一員としてとてもうれしく感じました。復興支援といえば、地域で取り組むものと思っていましたが、YMCAを通して世界の人が集まってボランティアをしてくれる。今まで「地域の人」だった私が、YMCAのグローバルな活動にふれることで世界に目を向けることができるようになりました。

私たちユースが参加する研修会の参加費は、募金による補助を受けています。YMCAでの経験を周囲に発信して、ユースリーダーを増やしていくことが自分にできる恩返しだと思っています。

国際協力

東ティモールYMCA
ユースボランティア
アルバ・ダ・シルバさん



東ティモールYMCAは、子どもたちや若者、地域の人々が、平和と愛に包まれた社会で暮らすことを願い、子どもたちのサッカープログラム、幼稚園、ユース育成、教育活動などを行っています。

まだ歴史が浅い中、日本のYMCAから資金的な支援や研修の機会が与えられていることに感謝します。熊本YMCAを訪問した際に学んだ熊本地震の復興について自国で伝え、共に祈り、私たちにできる支援を考えたいと思います。国や文化が違っても、互いに助け合う精神は共通です。

東ティモールは2002年に独立し、平均年齢が19歳前後の若い国です。日本のYMCAを地域貢献や教育を行う上でのモデルにして、若者や子どもたちのためのよい活動を開発していくことが目標です。

募金の方法

①持参

お近くのYMCAにお持ちください。

②お振込み

郵便振替や銀行振込で受け付けています。
お振込み先はWebサイトをご確認ください。

③街頭募金

県内各地で街頭募金を実施します。



④行事への参加

12月11日(火)に開催する市民クリスマスの益金は熊本地震復興支援などに用いられます。(詳細は4面) また、楽しみながら参加できるチャリティプログラムを1月に実施します。



⑤募金箱の設置

設置可能なお店や企業等がありましたら、お申し出ください。

募金の使途

こどもたちの支援

学生・留学生の支援

健康・福祉支援

ボランティアリーダーの育成

国際協力活動

災害復興支援

YMCA年末募金

【期間】2018年11月1日～2019年1月31日
募金方法・詳細はWebサイトでご確認ください。

熊本YMCA 年末募金



R | E | P | O | R | T

[8月23日⇒10月8日]

周年行事

地域と共に70年 記念行事を開催

熊本YMCAは2018年10月で創立70周年を迎えました。

10月8日(月・祝)、ホテルメルパルク熊本を会場に、記念行事を開催。日本福音ルーテル大江教会牧師の立野泰博さんによる礼拝に始まり、第2部式典では、関係市町村の首長ら来賓から祝辞が述べられました。これまでの活動や熊本地震支援活動への感謝のほか、「娘がYMCAに通っていました」「YMCAの街頭募金に参加したことがあります」などの思い出も語られました。第3部では、牧

師の関田寛雄さんが『寅さんとキリスト教〜人生の喜怒哀楽を巡って〜』と題して講演。映画『男はつらいよ』の寅さんこと寅次郎の人を助けようとする行動に重ねながらイエス・キリストの愛と奉仕の業について語られました。(詳細は次号)

第4部の感謝会では、韓国、タイ、ミャンマーからのゲストが紹介されると、大きな拍手が送られました。最後はニューオリンズジャズハウズの皆さんによる生演奏をバックに「熊本YMCAの歌」を合唱。笑顔あふれる会となりました。



感謝会で海外ゲストと記念品の交換

国際理解

タイで異文化理解 ユースワークキャンプ

8月23日(木)から9月2日(日)までタイ・ユースワークキャンプに参加しました。そこで私が感じたことは二つあります。

一つ目は、なんでもやってみないと分からない、ということです。初めは、不便な山岳民族の村に行くことに不安がありました。しかし、現地で暮らす人々と交流してみると、言葉が分からなくても気持ちを通じし、同じ趣味を持つ同世代もたくさんいることも分かりました。

二つ目は、世界はとても広くて、まだまだ知らな

いことがたくさんあるんだ、ということです。キャンプ中は人身売買や麻薬の密造について聞いたりと、心が傷ついたこともありました。そのような危険にさらされている同年代や年下の子もたちがいると知りました。このキャンプに参加していなければ知りえなかったことがたくさんあります。日本の高校生にもっとこのような体験をしてほしいと思います。私は、学んだことを友だちや家族に伝え、異文化理解に貢献していきたいです。

熊本マリスト学園高等学校2年 後藤彩日



ワークで窓を塗る参加者たち

子育て

留学生と子どもたちが交流 世界のあそび

今年度、熊本YMCAは熊本市エンゼル基金の助成を受けて、0〜3歳児の親子がいっしょに参加できる催し「子育て広場わいわい」を各センターで開催しています。9月13日(木)は、特別プログラムとして、YMCA学院グローバルコミュニケーション科で学ぶ留学生(アジア系5カ国)と、0歳〜3歳までの親子15組が中央センターで国際交流を行いました。若干日本語がたどたどしい学生たちと、言葉がままならない子どもたちが、言葉を越えて楽しいひと時を過ごしました。

留学生たちは、「遊びは練習どおりにできなかったり、間違えたりしたこともあったが子どもたちのうれしそうな様子を見て、自分たちもうれしかった」など、緊張しながらも子どもたちとの関わりを楽しんでくれました。参加した保護者の皆さんや学生たちから「またこのような交流の機会がほしい」という声が聴かれたことは、何よりもうれしい収穫でした。YMCAだからできる子育て支援に今後も取り組んでいきたいと思っています。

職員 西本愛



岡 総主事の タラン トン Vol.53



新たな希望を志に

2018年10月8日(月・祝)、多くの会員や国内外のゲストの方々とともに、熊本YMCA創立70周年を喜ぶ時が与えられましたことに、心から感謝いたします。関田寛雄さんによる講演会は、私たちYMCAに関わる人々が、愛を持って真理を追究していくことがいかに大切であるかを胸に刻む機会となりました。多くの皆様からの

祝福に感謝すると同時に、これまでの歴史の重さと先人の志をかみしめ、新たな歴史への一歩を踏み出す覚悟をいたしました。

1948年に熊本YMCAが誕生して70年。教育・産業構造の変化、気候変動や生態系の危機、人口減少や少子高齢化などの社会的課題が複雑化しています。私たち熊本YMCAは、これまでも地域が直面する課題に向き合い、様々な活動を行ってまいりました。1995年より熊本YMCAの全ての運動の指針となっている「熊本YMCAの使命」をしっかりと実践できているか。思いやり、誠実さ、尊敬心、責任感の心を育てる「キャラクターディベロップメント」の模範となるように努力しているか。YMCAに関わる

人々が、よりYMCAとの関係を深め、自身の賜物を活かすことができる場となることを目指す、「メンバーシップ・バイ・デザイン」を進めることができているか。多くのことを自らに問い続けてきました。

そして、昨年度から、YMCAは新たなビジョンを掲げています。「互いを認め合い、高め合う『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る」。自身が「みつかる。つながる。よくなっていく。」の体現者となれるように自覚を持つこと、激動の時代である今も、熊本YMCAに連なるすべての人が未来に向かって歩む新たな希望が、神様から与えられていることを忘れず、会員の皆様とともに、5年先、10年先、そして100周年をめざして前進していきます。

t a l a n t o n

I n f o r m a t i o n

行こう 見よう 深めよう

12月9日 Sunday

インターナショナル・
チャリティーラン2018走る
×
チャリティ

YMCAインターナショナル・チャリティーランは障がいのある子どもたちもそうでない子どもたちも共に幸せに生きていける社会をめざし、全国で開催されています。熊本での開催は3回目。今年も多くの皆さんの参加をお待ちしております。

回 12月9日(日)9:30～開会式(小雨決行)

場 熊本県農業公園 カントリーパーク(熊本県合志市栄3802-4)

種目／参加費 [1]個人ラン<5km>／1人3,000円 [2]ファミリーラン<1km>1家族(4人まで)／1家族3,000円 [3]グループラン(たすきリレー)<1km×5人>／1チーム10,000円 [4]グループラン(小学生タイムレース)<1km×5人>／1チーム3,000円 ※実施順ではありません

参加資格 本大会の趣旨に賛同し、完走完歩が可能な方(年齢制限や、男女、障がいの制限はありません)

主催 熊本YMCA

申込 WEBサイトにて11月30日(金)までにお申し込みください。



12月11日 Tuesday

市民クリスマス2018
Migiwaチャリティーコンサートチャリティ
×
音楽

今年の市民クリスマスは、ゴスペル・シンガーソングライターのMigiwaによるチャリティーコンサートを実施します。コンサートの益金は、熊本地震復興支援活動などのために用いられます。

回 12月11日(火)18:30開場 19:00開演

チケット 大人 1,500円／学生以下 1,000円 ※全席自由 未就学児無料

主催 市民クリスマス実行委員会 チケット取扱 熊本YMCA各センター

Migiwaプロフィール

クリスチャンの家庭に生まれ、幼少から教会に通い聖歌隊などで音楽に親しむ。

2000年、アメリカで本場のゴスペルを聴き感銘を受け、翌年から音楽活動を開始。自身の不登校や引きこもりの経験を通し生み出された楽曲や透き通る歌声で神様の愛を伝え、多くの人に勇気と希望を与えている。2006年8月にアルバム「蟻と宇宙」をリリース。ゴスペルCCM大賞アーティストオブザイヤー金賞を受賞。2011年、東日本大震災の直後から東北に通い始める。今なお定期的に被災地を訪れ、仮設住宅などでボランティアコンサートを行っている。

学び
×
交流

11月23日～25日

つどえ東山荘に! すべての“Y”がつながる日
第20回日本YMCA大会

日本YMCA大会は様々な分野で活躍する日本中のYMCAに連なる仲間たちが、一堂に会する日本最大の大会です。グループワークを通じた仲間との語りの他、テーマ別セッションから新たな気づきを得て、自分がYMCAを通して実現できる夢や思いを描く3日間です。

回 11月23日(金・祝)15:00～25日(日)13:00

場 日本YMCA同盟国際青少年センターYMCA東山荘(静岡県御殿場市)

対象 YMCAに関わる全ての人 費 30,000円(35歳以下20,000円) ※交通費別

主催 熊本YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397

回日時 会場 内容 参加費 定員 参加条件 持ち物 対象 主催 締切 申込 問合せ その他

人の為に犠牲になるなんて、私には土台無理な話です。私にはできません。そんなぼやきともつかない祈りを捧げている自分があります。私のために命を犠牲にされたイエス様の愛、その愛を教えて下さり、導いて下さった先輩先生の愛に、少しでも見習うことが出来たらと思わされています。どんなに悪いことを考え、思い、行動に移したとしても、イエスキリストは十字架からどんな時もただ信じるだけで良いんだとやさしく私たちを見つめて下さっています。

右記のみ言葉は天に召された師が大切にされた言葉でした。一人の魂を愛し、御子イエス様をこの地上に与えられた神の愛、それはこの地球よりも重い。なぜならイエスキリストを十字架に付けて死なせてまで、自分の独り子の命よりあなたの命が大切だと、イエス様を人の犠牲とされた天のお父様。こんな神は他にいません。

キリストの愛

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

ヨハネによる福音書 3章16節

わたしと聖句

木山キリスト教会
小田真由美



発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8
TEL 096-353-6397(代)
発行人／岡 成也 編集人／因幡 亮治
定価60円 購読料は会費に含む
www.kumamoto-ymca.or.jp



熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2018年度基本聖句

コロサイの信徒への手紙 3章14節
愛を身に着けなさい。
愛は、すべてを完成させるきずなです。